

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	278	福祉給付金の支給	会計	01	一般会計
基本施策	5	障害のある人の自立した生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	伊賀支所 健康福祉課		項	01	社会福祉費
作成者氏名	福永 保	連絡先	目	01	社会福祉費総務費
			細目	107	手当支給経費
			細々目	02	老人及び重度身体障害者(児)福祉手当支給経

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)		成果(どうなるのか)		
	障害・寝たきりの高齢者又は3歳以上20歳未満の重度障害児		支給対象者の生活向上のための援助を行う		
本年度事業内容	寝たきり高齢者等福祉手当…年額36,000円 重度障害者福祉手当…年額36,000円 重度障害児福祉手当…年額60,000円				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市寝たきり高齢者等福祉手当支給条例 伊賀市重度障害者福祉手当支給条例 伊賀市重度障害児福祉手当支給条例

投入資源

投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)
		0.1	0.1	0.1
支出内訳(千円)	人件費合計(A)	720	720	720
	事業費(B)	1,748	1,872	1,872
	需用費			
	負担金補助			
	扶助費	1,748	1,872	1,872
	合計(A+B)	2,468	2,592	2,592
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	2,468	2,592	2,592
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
対象者数(老人及び重度障害者)	人	36	40	45			
対象者数(重度障害児)	人	15	15	15			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者適用比率(障害児)	福祉給付金対象者 / 福祉給付金受給資格者 = 15/15	%	100 目標 ( 100 )	100	100

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度障害児福祉手当については、利用率100%で十分な事業効果が見込める。</li> <li>・重度障害者福祉手当については、個別的な介護状況が勘案されるため利用率の推定は不可能であるが、一次対象者数371人に対し7人の実績はいずれにしても事業効果は低いと考えられる。</li> <li>・ねたきり高齢者福祉手当についても個別的な介護状況が勘案されるため利用率の推定は不可能であるが、一次対象者数356人に対し29人の実績はいずれにしても事業効果は低いと考えられる。</li> </ul>
---

評価	必要性	4	障害児手当については、事業効果は大きいですが、障害者及び寝たきり老人福祉手当については利用率から考えて、事業の周知徹底と見直しが必要。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	3		
				<b>B</b>